

# 自由意志信念と決定論的信念を めぐって

唐沢かおり (東京大学)  
戸田山和久 (名古屋大学)  
渡辺匠 (日本学術振興会:東京大学)  
片岡雅知 (日本学術振興会:東京大学)  
亀田達也 (北海道大学)  
出口康夫 (京都大学)

# 自由意志とか決定論とか

- テツガク者の領分
- 社会心理学でも「似たようなこと」は領分内にあった
  - 意志の力、自由への信念、統制感...
- 近年、社会心理学も「自由意志」に着目
  - 哲学との相互交流、Moral psychology
  - 社会心理学における重要な現象とのかかわり

# 研究のタイプ

- 自由意志信念が行動・判断に及ぼす影響
  - 自己制御的行動、攻撃行動、量刑判断...
- 自由意志に関する人々の考え方
  - 概念の検討、連合するもの、尺度構成...

# 自由意志信念が強いと

- 内的統制感や外向性が高く、情緒不安定性が低い (Paulhus & Carey, 2011)
- 懲罰傾向や正当世界信念が強い (Carey & Paulhus, 2013)
- 予想・実際の職業成績や内的統制感、人生満足度、誠実性、開放性が高く、情緒不安定性が低い (Stillman et al., 2010)
- 懲罰傾向や自尊心が高く、内的統制感や宗教性が低い (Rakos et al., 2008)
- 懲罰傾向や自尊心が高く、内的統制感が低い (Laurene et al., 2011)
- 利他性や生活満足度が高い (Bergner & Ramon, 2013)
- 統制感、主観的幸福感が高く、抑うつ傾向が弱い (渡辺・櫻井・綿村・唐沢, 2013; 渡辺・櫻井・唐沢, 2013; Watanabe, Sakurai, & Karasawa, 2014).
- 死の脅威により強化される (渡辺・大山・唐沢, 2013)

# 自由意志の否定により

- 過去の自分の過ちに対して罪を感じなくなる (Stillman et al., 2010)
- 社会的望ましさに関する自己評価が上がる (Watanabe, Sakurai, Karasawa, 2014)
- 加害者への責任・量刑判断が寛容になる (Shariff, et al., 2014)
- 第三者に対してのみ量刑判断が寛容になる (渡辺・櫻井・唐沢, 2013)
- 優勢反応の自発的制御動機が低下 (Rigoni, et al., 2012)
- エラー反応後の行動修正動機が低下 (Rigoni, et al., 2013)
- 自己コントロールの自己認知や望ましさが低下する (Watanabe, Sakurai, & Karasawa, 2014)
- テストの不正行為が増加 (Vohs & Schooler, 2008)
- 援助行動が減少し、攻撃行動が増加する (Baumeister, et al., 2009)
- 自由意志の存在が肯定されると、もともと攻撃性の高い人は攻撃行動が増加する (松本・櫻井・渡辺・唐沢, 2014)

# Baumeister et al., 09. Exp.3

## 自由意志信念の操作

自由意志の存在を  
肯定する文章

自由意志の存在を  
否定する文章

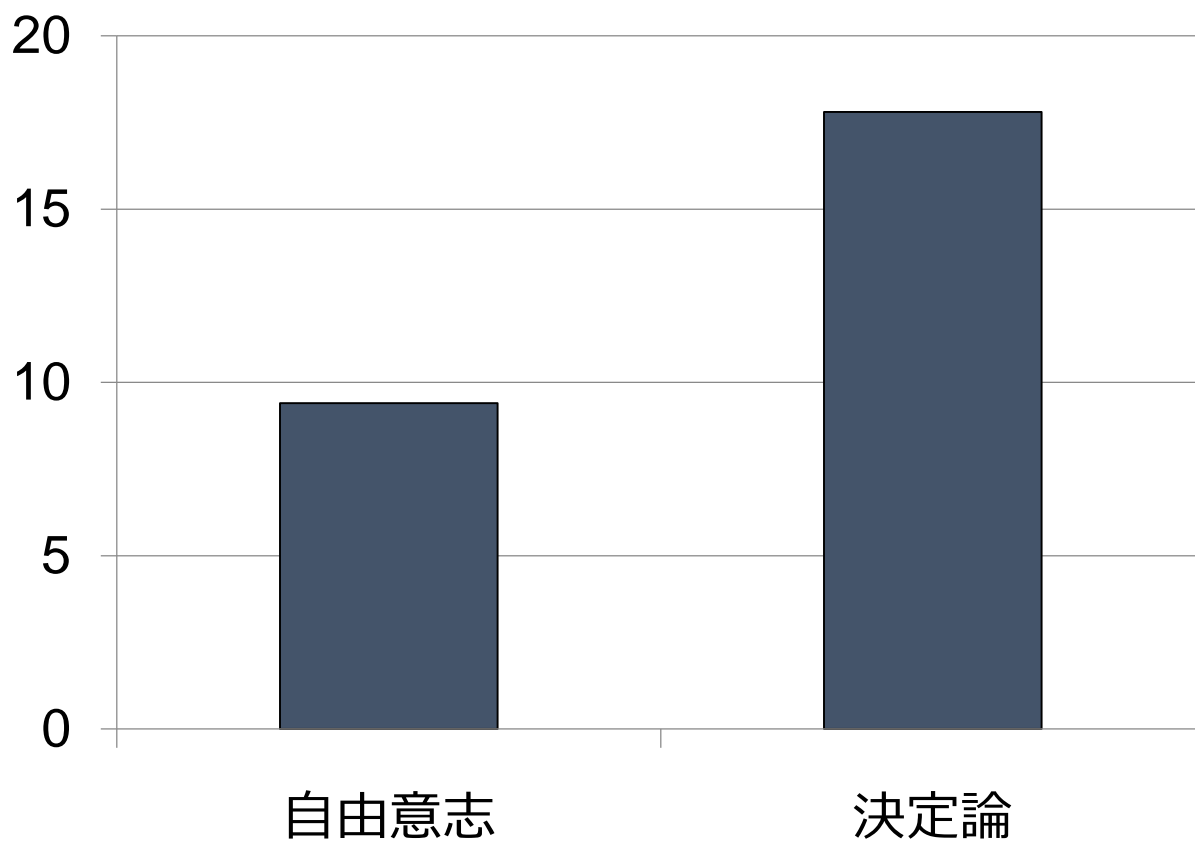
## 攻撃行動の測定

辛口ソースパラダイム

- 食べ物の好みに関するテスト→相手の食べるチップスに乘せるソース量が攻撃行動の指標

# 攻撃：自由意志 < 決定論

ソース量



# そもそも社会心理学にとって自由意志問題はどのような位置づけにあるのか

自己・他者の行動原因認知  
統制感や正当世界認知  
他者の心の推論と行動予測  
自己制御  
道徳的判断  
などなど

これらに関わる議論を編みなおす可能性を持つ  
(かもしれない)



# 社会心理学の課題として

自由意志概念とは？  
⇔ 決定論的信念

新しい仮説とその実証  
従来の知見を組みなおす視点

自由意志・決定論的  
信念が何をもたらす？

哲学の  
知見

社会心理学  
の知見

実験哲学・分析哲学  
との協同による分野  
開拓